

令和7年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

＜教育方針＞ 豊かな情操と気品ある人格を育み、これからの社会を支える健全な精神を持つ若者を育成する。 「情操」とは、美しいものや優れたものに対して素直に感動できる心。相手の良いところに気づき、相手を敬うことができる力 「気品」とは、落ち着いた振舞い、優しい気持ちで人と接することのできる精神的な美しさ ＜夕陽丘教育の4つの柱＞ 1 自ら考え、行動できるように自主自律の心を育む学校 2 幅広い教養を身に付け、一人ひとりが自己実現を達成できる力を養う学校 3 国際的視野をもち、社会の変化に対応できるグローバル人材を育成する学校 4 国内最高レベルの音楽教育を推進する学校

2 中期的目標

■ 全ての教育活動に「自主・自律」、「グローバル」の観点を取り入れる。
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む (1) 基本的生活習慣を確立し、学業及び行事に主体的・協働的に取り組む。 ア 学生自治を基本に、学校生活・行事・部活動に主体的・協働的に取り組み、快活な学生を育てる。 ※自己診断生徒 98%以上 (R4:96.7%, R5:97.8%, R6:97.6%) イ 身近な事柄を通じて、他者理解や思いやりの心など豊かな人間性を身につける。 ※自己診断生徒 97%以上 (R4:94.2%, R5:96.1%, R6:94.7%) ウ 道徳教育推進教師を中心に、道徳教育の充実を図る。 ※自己診断生徒 85%以上 (R4:84.7%, R5:82.6%, R6:83.2%) (2) 学校、保護者、地域が一体となって安心安全で温もりのある学校・地域づくりに参画する。 ア 「こころの再生」にかかるあいさつ、地域の学校や施設等との交流活動を行う。 ※自己診断生徒 97%以上 (R4:95.1%, R5:95.8%, R6:96.4%) イ 教育相談・支援体制を充実させるとともに、家庭、専門人材、外部機関等と連携し、生徒一人ひとりに応じた教育活動を推進する。 ※自己診断生徒 87%以上 (R4:85.8%, R5:86.6%, R6:87.3%) ウ 「夕陽丘高校いじめ防止基本方針」に基づき、学校全体でいじめの未然防止、早期発見・早期解決に取り組む。 ※自己診断生徒 90%以上 (R4:88.6%, R5:88.1%, R6:89.1%) エ 防犯・防災を含む危機管理体制、日常の環境整備により安心安全な教育環境を整える。 ※自己診断生徒 90%以上 (R4:88.9%, R5:88.4%, R6:84.1%)
2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う (1) 学習指導要領を踏まえ、「カリキュラム・マネジメント」を確立し、「資質・能力」を育成する。 ア 総合的な探究の時間「夕陽学」、各教科・行事等の教育活動を通じて、社会との連携・協働を実現する。 ※自己診断教員 87%以上 (R4:86.3%, R5:84.2%, R6:73.6%) イ 学習指導要領を踏まえ、更なる授業の充実を図る。 ※自己診断教員 80%以上 (R4:78.4%, R5:66.7%, R6:71.7%) ウ 1人1台端末を効果的に活用し、「主体的対話的な深い学び」の実現と授業改善につなげる。 ※自己診断教員 97%以上 (R4:96.1%, R5:94.7%, R6:96.2%) エ 生徒の学習支援、自律的な学びを高める等のためにICT機器の活用を高める。 ※自己診断生徒 90%以上 (R4:89.1%, R5:85.7%, R6:91.7%) (2) 系統的にキャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。 ア 各学年の生徒の希望に応じた進路の取り組みを行う。 ※自己診断生徒 90%以上 (R4:91.4%, R5:86.2%, R6:85.0%) ※志望校決定率 70%以上 (R4:70%, R5:79%, R6:75%)、国公立・関西5私大 (関関同立近大) 実合格 200名以上 (R4:209, R5:250, R6:151)
3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する (1) 海外研修や授業等を通じて、多様性を理解するとともに、自身のキャリアデザインを考える。 ア 海外修学旅行、海外語学研修、ウィーン音楽研修を継続発展する。 イ グローバルに使える力として多様性・英語4技能をバランスよく育成する。 (R4:英語学力調査のスコア(本校) 1年 67.8, 2年 52.7、R5:1年 62.2, 2年実施なし、R6:1年 60.6, 2年 58.6) (2) 国内にいながらにして国際交流を体験できるような様々な機会を提供する。 ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、日々の学習活動と関連をもたせ、国際交流の内容を深化する。 イ SDGsをテーマに、生徒の主体的な取り組み及び国際交流の活動(オンラインによる国際交流活動を含む。)を学校全体で計画的に行う。 ※自己診断生徒 80%以上 (R4:79.4%, R5:79.5%, R6:84.9%)
4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する (1) 国や府の推進事業等を積極的に活用し、国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を取り入れる。 イ 定期演奏会、地域での講演会等を企画・実現する。 (2) 生徒等の企画運営による校内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。 ア 校内のヴィオラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域での音楽会を実施する。 (3) 国内及び海外の大学等と連携し、交流を促進する。 ア 大阪教育大学、韓国、台湾、オーストリアの学校等と交流を促進する。
5 働き方改革の推進 (1) 教員および生徒の健康管理、教員の業務内容の効率化・多忙化解消をめざす。 ア 会議の短時間化・長時間勤務の解消 イ 部活動の適切な実施
6 広報活動の充実 (1) 上の1～5の中期的目標の成果を効果的に発信する。

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析〔令和7年2月実施分〕	学校運営協議会からの意見

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R 6 年度値]	自己評価
1 豊かな人間性の涵養と「自主・自律」の心を育む	(1) 基本的生活習慣の確立、学業等へ主体的・協働的に取り組む。	ア 基本的生活習慣を確立する。 ・あいさつ週間・遅刻週間の実施。	ア ・遅刻者数の減少 昨年度比 10%減 【2551】 ・生徒向け学校教育自己診断における「あいさつ」の肯定率 95%以上 【96.4%】	
	(2) 安心安全で温もりのある学校づくり	イ あらゆる教育活動において、人権感覚を育成する。 ・生徒向け人権学習の充実 ・教職員向け研修の実施 ・道德教育の充実を図る。 ウ 学生自治を基本とした学校行事等の実施 エ 地域等との交流活動を実施する。	イ ・人権学習等の事後アンケート肯定率 90%を維持 【89.0%】 ・教員向け学校教育自己診断における人権に関する項目の肯定率 90%を維持 【88.7%】 ウ ・生徒向け学校教育自己診断における学校行事に関する肯定率 90%を維持 【96.4%】 ・部活動に関する肯定率 85%を維持 【89.6%】 エ ・交流活動回数 3 回以上【2 回】 ア ・生徒向け学校教育自己診断における「先生に相談しやすい」の肯定率 80%を維持 【87.3%】 ・教員向け学校教育自己診断における教育相談関連の項目の肯定率 85%を維持 【86.8%】 イ ・生徒向け学校教育自己診断における「いじめ」に関する項目の肯定率 85%を維持 【89.3%】 ・校内環境点検 3 回、防災訓練等 2 回 【1 回、2 回】	
2 基礎学力を充実させ、「夢」や「志」を育み自己実現を達成できる力を養う	(1) 「カリキュラム・マネジメント」を確立し、「資質・能力」を育成する。	ア 学習指導要領を踏まえ、更なる授業の充実を図る。また、総合的な探究の時間「夕陽学」の充実を図る。	ア ・生徒向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 80%以上 【85.4%】 ・教員向け学校教育自己診断における授業に関する項目の肯定率 90%を維持 【96.2%】 分掌・教科等の取組みに関する項目の肯定率 70% 【64.2%】 ・授業アンケート 平均 3.3 以上 【3.58】	
	(2) キャリア教育を推進し、進路目標を明確にし、実現につなげる。	イ 1 人 1 台端末を効果的に活用し、「主体的で対話的な深い学び」を充実する。 ICT を効果的に取り入れ、一斉、個別、協働学習の組み合わせにより、学びの深化を図る。 ウ 自律的な学びを高める。 エ 観点別評価の確実な実施に向けて更に研究する。 ※アからエの実現に組織的に取り組み、それぞれの授業改善につなげるとともに、カリキュラムマネジメントを生かして教科等の業務に取り組むことにより、働き方改革を推進する。	イ ・1 人 1 台端末等、ICT 活用に関するアンケート肯定率 85% 【91.7%】 ウ ・生徒向け学校教育自己診断における家庭学習に関する項目の肯定率 60%以上 【61.8%】 エ 校内教員研修の実施（教科・全体） ・ICT 活用公開授業 6 回 【8 回】 ・授業研究報告書の作成 1 人 1 発表 【成果物作成】 ・総合的な探究における指導の研修 2 回 【2 回】 ア ・進路講座実施回数 6 回以上 【8 回】 ・志望校決定率 70%以上 【75%】 ・国公立関西 5 私大（関関同立近大）200 名実合格 【151】 ・生徒向け学校教育自己診断における進路に関する項目の肯定率 85%以上 【85.0%】	
3 国際的な視野を広げ、グローバルに活躍できる人材を育成する	(1) 多様性の理解と自身のキャリアデザインを考える。	ア 海外修学旅行等を実施する。 イ 英語の 4 技能をバランスよく育成する。	ア・事後アンケートにおける満足度 90%を維持 【98.6%】 イ・英語学力調査のスコア：60% 【59.6】 ・コミュニケーション英語の英語利用率：70% 【75.0%】	
	(2) 国内にいながらにして国際交流を体験できる様々な機会を提供する。	ア 海外からの学校訪問や留学生を積極的に受け入れ、国際交流の機会を充実する。 姉妹校：クラークスタウン北高校（アメリカ・NY）、鳳新高級中学（台湾） イ 国際交流の活動を学校全体で計画的に行う。	ア・生徒向け学校教育自己診断における国際交流に関する肯定率 85%以上 【84.9%】 イ 交流活動の継続実施 ・訪問先受入校との事前事後の交流活動の継続実施 【板橋高校（台湾）】 ・SDGs に係る取り組みや国際交流活動年 3 回実施 【アメリカ、韓国、台湾 計 3 回】 ・国際交流に係る生徒の取組人数 200 人を維持 【472 人】	

4 府内公立唯一の音楽科設置校として、国内最高の音楽教育を推進する	（１）国内外のトップアーティストを招聘した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 （２）生徒等の企画運営による学内演奏会やアウトリーチ活動を展開する。 （３）国内及び海外の大学等と連携し交流を促進する。	ア 国際舞台で活躍することを意識した特別レッスン、特別公開講座を実施する。 イ 定期演奏会を企画・実現する。 ア 校内のヴィオーラホール等を活用して、また、近隣ホール・小学校、地域等での音楽会を実施する。 ア 大阪教育大学、韓国、台湾、オーストリアの学校等と交流を促進する。	ア 特別レッスン・公開講座の満足度 100% 【100%】 イ 事後アンケートにおける満足度 100% 【100%】 ア 校内、近隣ホール・小学校、地域等での音楽会の実施回数 6 回以上 【15 回】 ア・年間 6 回以上 【7 回】	
5 働き方改革の推進	（１）教員および生徒の健康管理、教員の業務内容の効率化・多忙化解消をめざす。	ア 教員の業務負担や心的ストレスなどを把握し、健康管理について取り組む。 イ 部活動大阪モデルによる活動が実施されているかを確認する機会をつくる。 ウ 業務の効率化に向けて各部署での取り組みを行う。	ア ・教員のストレスチェック 総合健康リスク値 100 以下 【96】 ・残業時間 350 時間以下 【新規】 イ ・教員向け学校教育自己診断における「部活動」に関する項目の肯定率 85% 【92.5%】 ・生徒向け学校教育自己診断における「部活動」に関する項目の肯定率 85% 【89.6%】 ウ ・教員の意識改革のための研修実施 【実施なし】 ・各分掌での業務見直し報告書作成 【実施なし】	
6 広報活動の充実	（１）広報の在り方を検討する。	ア 中期的目標 1 ～ 5 の成果を効果的に発信 ・広報戦略を検討する。 ・学校説明会の実施（普通科・音楽科） ・「夕陽丘の風だより」の充実 ・夕陽丘マガジンの発行 ・動画等による広報発信 ・音楽科の広報発信の強化	ア ・広報戦略ワーキング 5 回 【5 回】 ・学校説明会等の中学生、保護者の参加数 1600 名以上 【2600 名】 ・動画配信 年 12 本以上 【29 本】 ・夕陽丘マガジンの発行(学期 1 回) 【3 回配信】	